



「喜んでお手伝いをする心が育つ」

先日、ひつじ組の子ども達が八百屋市でナス・トマト・キュウリ・ピーマン等の苗を買って来て、プランターに植えたり、ジャガイモを土のう袋に植えました。毎日水をかけて、成長を楽しみにしています。ほんの小さなプランターの畑ですが、一生懸命です。7月のお泊り会の時、お料理に使えるくらい大きくなってほしいと願っています。

毎日「水をかけてあげて」と言われると、子ども達はとっても嬉しそうに我先にと手伝ってくれ、次の日は自主的に行っています。大人に頼りにされて「ありがとう」と言われると、とっても満足そうです。頼まれて率先してやってくれるのは、保育園くらいの年令かもしれません。

この時期を逃さずに手伝うと、自分もいろいろなことが出来る、上手に出来るコツをつかむ、どのようにすればスムーズに出来るかを自分で考えるようになる、喜んでもらえるという喜びを感じる、最初は上手く出来ないのはあたりまえ、上手く出来ないから手伝いを頼まないのではなく、失敗して学ぶことがたくさんあるのですから、どんどん手伝いをお願いします。

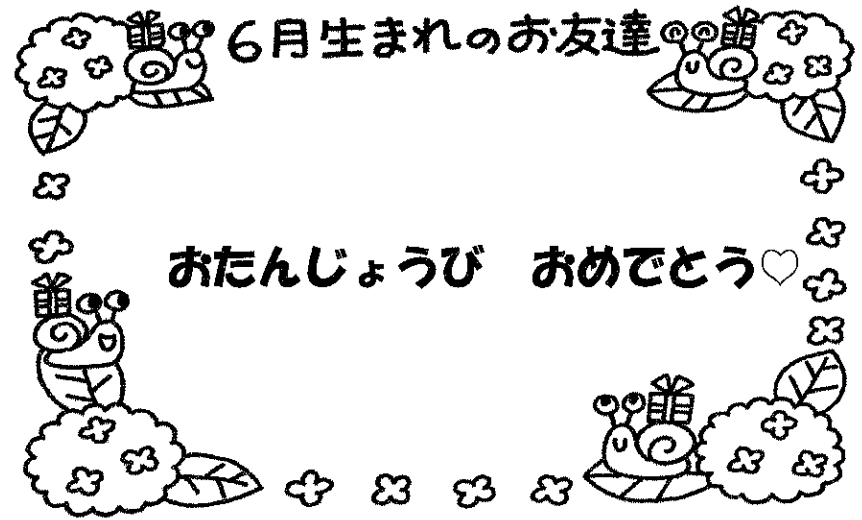
その時は必ず大人も一緒に行き、見守ることが大切です。見守られていることで、やる気がどんどん出て来ることと思います。ほんの小さなことから少しずつ始めてみましょう。

子どもの成長を感じながら…

<園長 平野 義子>



- 2日 (火) 静修 (3~5歳児)
- 5日 (金) 園外遊び (0~2歳児)
- 10日 (水) 草すべり (3~5歳児) 1歳以上お弁当
- 12日 (金) 防災訓練
- 19日 (金) 保育参観 (3~5歳児)
- 24日 (水) 大崎ホーム訪問 (4・5歳児)
- 26日 (金) 誕生会
- 30日 (火) 縦割り保育 (3~5歳児)



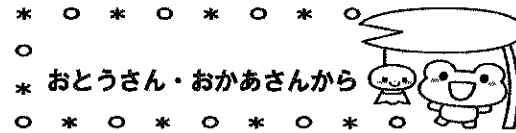
♪神様がわかるでしょう

1. 美しいこの空を 愛らしいこの花を 浮かんでる白い雲 香りき青草を じっと眺めるだけで ただ眺めているだけで ほら君もわかるでしょ 神様がわかるでしょう
2. ある時は涙ぐみ いつの日か夢に見た 心には愛もなく 過ごしてる時がある じっと祈った時も ただ祈っていた時も ほら君もわかるでしょ 神様がわかるでしょう



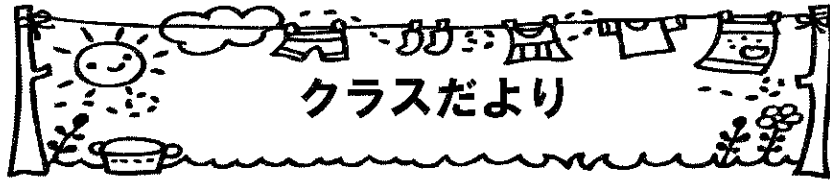
♪ながぐつマーチ

1. ながぐつはいてるね ドンドン ガボガボあるこうね ドンドン どんこみちでもさ ドンドン ホラ へいきであるこうよ ドンドン
2. ながぐつはいてるね ドンドン ガボガボあるこうね ドンドン みずたまりでもさ ドンドン ホラ みんなでげんきよく ドンドン



○は11か月からカトリック保育園に入園し、あっという間に6歳になりました。思い返せば○は、慣らし保育を終える頃には意外とあっさり”いってきます”ができて、安心した反面寂しく思ったのを覚えています。そんな○は、とにかく保育園が大好きで、熱があっても、休むことに納得出来ず、先生方に説得を手伝って頂いた事もありました。園長先生はじめ、ばんびぐみの頃から蓮を保育して下さった先生方、遊んでくれて助けてくれたお友だちには感謝の気持ちでいっぱいです。そして、親である私も先生方の”いってらっしゃい”で毎日安心して仕事に行く事ができ”おかえりなさい”にホッとしました。本当にありがとうございました。卒園まであとわずかとなってしまいましたが、思いっきり大好きな保育園生活を満喫し思い出を作ってほしいと思います。

<ひつじ組 ○○○ ○くんのお母さん>



クラスだより

ばんび組 (0歳児)

- <ねらい> ・簡単な手伝いに興味を持ちしようとする。
 ・梅雨期の衛生や感染症に気をつけ、元気に過ごす。
- <家庭連携> ・家庭でも簡単な手伝いを頼み、出来た時は沢山褒めることで、少しずつ興味を持って行えるようにしましょう。
 ・一緒に手を洗ったり、健康に過ごせるよう家庭と園の連携をとっていきましょう。

ひよこ組 (1歳児)

- <ねらい> ・簡単な手伝いの楽しさを知る。
 ・指差しや喃語、簡単な単語で、自分の思いを伝えようとする。
- <家庭連携> ・手伝いをする機会を作り、手伝いをしてくれた時は大いに褒め、手伝いをする楽しさを味わえるようにしていきましょう。
 ・子どもの伝えようとする気持ちを受け止め、話す楽しさや気持ちを通じ合う喜びを、経験できるようにしましょう。

ことり組 (2歳児)

- <ねらい> ・手伝いや当番の楽しさを知り、行おうとする。
 ・スプーンを正しく持って食事をする。
- <家庭連携> ・子どもにできるお手伝いを用意し、手伝ってもらった感謝を伝え、誰かのためにお手伝いをする喜びを味わえるようにしましょう。
 ・スプーンの正しい持ち方が身に付くよう家庭でも知らせていきましょう。
 ・自分で開閉しやすいおしぼりケースをお願いします。また、ケースに合ったおしぼりをご用意下さい

こねこ組 (3歳児)

- <ねらい> ・周りの人に目を向け、手伝おうとする。
 ・おしぼりの絞り方を覚える。
- <家庭連携> ・手伝ってもらった時には感謝の気持ちを伝え、手伝う事への喜びや楽しさを感じられるようにしましょう。
 ・家庭でもおしぼりの絞り方を練習しましょう。絞りやすいよう小さめ、または薄手のおしぼりをご用意をお願いします。

うさぎ組 (4歳児)

- <ねらい> ・進んで手伝い、助け合おうとする。
 ・様々な素材や用具を使って、自由に描いたり、作った物で遊ぶことを楽しむ。
- <家庭連携> ・一人でできないことがあっても、友達と協力して行うことで出来ることが増えていくことに気付くよう働きかけをお願いします。
 ・様々な素材や用具の使い方を知らせながら作品を作り、自分が作った物で遊ぶ喜びを味わえるようにしましょう。

ひつじ組 (5歳児)

- <ねらい> ・小さい子、困っている人に気付き、優しく接したり手助けをする。
 ・毎日の持ち物の準備や片づけを行う。
- <家庭連携> ・大人が小さい子、困っている人に優しく接したり、手助けする姿を見ることで、子ども達が意識し、自ら手伝えるよう手本となっていくようにしましょう。
 ・所持品の準備、片づけをするよう声を掛けたり、忘れ物がないか確認をするようにしていきましょう。

給食室 ・「〇〇ちゃんお手伝いしてー」というと喜んで飛んで来てくれます。他の子まで「僕は?」「私は?」とお手伝いをしてくれようとしています。
 今月は<喜んでお手伝いをする心が育つ>です。配膳や下膳、料理などを一緒にしてみたいかかでしょうか?それが習慣になれば“お手伝い”が自然に身に付きます。子ども達にとっても、お父さん、お母さん、家族と関わる良い機会だと思いますので、ご家庭でのお手伝いを心掛けていただきたいと思います。



<喜んでお手伝いをする心を育つ>

小さい時、畑仕事をする父の手伝いをしたり、料理をする母の手伝いをすると、とても喜んでもらえ、子どもながらに嬉しかったことを覚えています。
 保育園で働いている中でも、子ども達が「せんせい、おてつだいたーい!」と自ら手を貸してくれたり、何かをお願いすると「いいよ!」と快く引き受けてくれる姿に毎回とても嬉しく感じさせられます。「ありがとう!助かったよ!」と話すとなんとも得意気な顔を見せてくれます。
 子どもにとってお手伝いを行うことは“人の役に立つ経験”や“責任を果たした経験”となり、子どもの自信や成長につながると思います。足が速いことや平仮名が読めることも自信になりますが“人の役に立つ”というのは人との関わりの中でこそ生まれるものだと思います。つい忙しいからといって自分で全部やってしまったり、危ないからといって断ってしまったりすることもあると思いますが、子どもの気持ちを大切に、小さいことからお願いし、たくさん褒め、たくさん喜び、子ども達の成長を応援していきたいものです。

<ことり組担任 岡崎 ひとみ>



あなたの一分間拝借

平成27年6月1日

6月は、『優しい心づくりに力を注ぎ、お手伝いをすることで‘自分も相手も嬉しい’と思いが合う心の育成に励みましょう！』をこころの教育目標としています。

誰でも「どんな子に育てたいですか」と問えば、「少しぐらいデキが良くなくても、こころの優しい思いやりのある子に育てくれれば良いです」という答えをよく耳にします。今日（こんにち）ほど、「優しさ」が全ての分野で求められているのではないかと思います。人間に対してだけではなく、物、動植物、自然環境、地球等に対しても「優しさ」が問われております。

ダイオキシン云々といって地球環境にあたたかい配慮、小さなエコ運動が求められています。昔から一日一善や小さな親切運動等を明るいまた住みよい街づくりにと識者は呼びかけましたがハイテク機器時代と共にいつしか自己中心的生き様に侵され、弱者の痛みを理解することが出来ず、小さな隣人愛すら実行出来ない人々が多くなったような気がしてなりません。

「朝顔に釣瓶（つるべ）取られてもらい水」といって、小さい可憐な朝顔の美しさに感動して隣まで水を貰いに行った心の温まるお話、生活環境に優しい母親の姿に、私たちが忘れていたものを思い出させてくれます。失われた風情が人のこころにあるべきものをよみがえらせてくれます。

小さな子ども達の心にこのような「優しさ」を育てていけたらよいですね。特に、いと小さき人々即ち貧しい人、病める人、差別を受けている人、虐げられてる人、寂しげな老人、心の悩みを持っている人等を優しい、思いやりのある心遣いで癒してあげる善き隣人となれるよう私たち大人がまず模範を日々のお会いの中で表すよう努力いたしましょう。

神は、私たちの身の回りに様々な機会をお与えになって、私たちがテストされるとよくいわれます。黒い霧に包まれた良心には見えないかもしれません。乳児のように清い心に返って神のお与えになるテストに臨みましょう。

優しさは、家族の絆を深めます！ 真の幸福に導く力です！
優しい人は、本当に優れた人です！ 真の勇者といわれます！
優しさが、縁の下の力持ちで、真に仕え合うことが出来る人！

カトリック司祭 川井 啓



お知らせ

- ・全クラス BOXティッシュ1箱集めます
- 宣しくお願ひします
- ・6月19日（金）は3歳以上児の保育参観です。
- 午後に救命救急講座がありますが3歳未満児
- クラスの保護者の方も多数ご参加ください